

高階杞一『風の五線譜』テスト対策練習問題と過去問まとめ

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 この詩の形式（分類）として正しいものを、次の中から3つ選び、○で囲みなさい。

- ア：叙景詩
- イ：叙情詩
- ウ：文語詩
- エ：口語詩
- オ：定型詩
- カ：自由詩

問2 この詩の作者を漢字で書きなさい。

問3 この詩はいくつの連からなるか。算用数字で答えなさい。

問4 第1連で、作者が見つめているものは何ですか。詩の言葉から3字で抜き出しなさい。

問5 詩の前半では、同じ言葉を何度も繰り返すことでリズムを生み出しています。この表現技法を漢字3字で答えなさい。



問6 「大きな葉っぱ」「黒い葉っぱ」のように、文の最後を名詞（ものの名前）で終わらせる表現技法を漢字4字で答えなさい。

問7 第2連～第4連では、「大きな」と「小さな」のように、反対の特徴を持つ言葉を並べる工夫がされています。この表現上の工夫を漢字2字で答えなさい。

問8 第2連～第4連では、それぞれ葉っぱのどのような点（特徴）に注目していますか。「第2連：大きさ」に続けて、第3連と第4連で注目している特徴を漢字1字ずつで答えなさい。

問9 第1連と第2連のつながりについてです。本来なら「大きな葉っぱ、小さな葉っぱが、風にゆれている」となる語順を入れ替えて、あとに続く葉っぱの個性に読者の注目を集める工夫がされています。これを何という表現技法として習うことがありますか。漢字3字で答えなさい。

問10 第1連～第4連では、葉っぱの「見た目（視覚）」に注目していました。第5連に入ると、作者の注目するものは何に変わりますか。漢字1字で答えなさい。

問11 第5連では、葉っぱが「ちがった音を出している」と書かれています。何がどのように音を出しているのか、詩の言葉を使って「(A)が(B)で音を出している」となるように、空欄にあてはまる言葉を答えなさい。



問12 第6連の「みんなできれいな曲を奏でている」では、自然の音の重なりを、まるで一つの楽団が演奏しているように例えています。この表現上の工夫を何といいますか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：省略法
- イ：反語
- ウ：見立て（比喻や擬人法）
- エ：倒置法

問13 「風の五線譜」というタイトルには、どのような意味が込められていますか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：五本の線が引かれたノートが、風に飛ばされてしまった様子。
- イ：風の強さを測るための道具の名前。
- ウ：空に吹く風を5本の線に見立て、そこにゆれる葉っぱたちを音符に見立てている。
- エ：風が吹くたびに、どこかから本物の音楽が聞こえてくる不思議な現象のこと。

問14 この詩全体を通して、作者が最も伝えたいこと（主題）としてふさわしいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：自然の風景を美しいと感じるためには、音楽の知識が必要だということ。
- イ：さまざまな個性をもつ葉が集まり、全体として美しく調和していることへの感動。
- ウ：秋になって葉っぱが落ちてしまう前に、たくさん絵を描いて残しておくべきだということ。
- エ：風の強い日は葉っぱの音がうるさくて、音楽の演奏のじゃまになるということ。



問15 第2連の「大きな葉っぱ / 小さな葉っぱ」を音読するとき、聞き手に情景を伝えやすくするためには、どのように工夫して読むとよいですか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：「大きな」も「小さな」も、同じくらいの声の大きさを平坦に読む。

イ：葉っぱの違いが伝わるように、区切りを意識して（対比を際立たせて）読む。

ウ：文字数が少ないので、できるだけ早口で一気に読み切る。

エ：読者に想像させるため、わざと声に出さずに黙読する。



高階杞一『風の五線譜』テスト対策練習問題と過去問まとめ (解答)

問1 イ・エ・カ

【解説】作者の感情や感動を表現しているから「叙情詩」、現代の話し言葉で書かれているから「口語詩」、文字数にルールがないから「自由詩」だよ。テストで漢字5文字で聞かれたら「口語自由詩」と答えよう。

問2 高階杞一

【解説】「杞」の漢字が少し難しいから、しっかり練習しておこうね。

問3 6 (6連)

問4 葉っぱ

問5 反復法

【解説】「葉っぱ」という言葉が何度も繰り返されているね。

問6 体言止め

【解説】文を名詞で言い切ることで、葉っぱの存在感が読み手の心に強く残る効果があるよ。

問7 対比 (または対句・対句法)

【解説】反対の言葉を並べて対比させることで、葉っぱにはいろいろな種類(個性)があることを強調しているんだね。

問8 第3連：形 (ぎざぎざの・まるい)

第4連：色 (黒い・黄色い)



問9 倒置法

【解説】言葉の順番を逆にする（倒置する）ことで、印象を強める表現技法だよ。

問10 音（聴覚）

【解説】「ちがった音を出している」とあるように、視点が「見た目」から「音」へと移り変わっているね。

問11 A：葉っぱ

B：風にゆれ

問12 ウ

【解説】葉っぱや風の音を音楽の演奏に見立てた（比喩的な）表現だよ。人間以外のものを人間のように表現しているとして、学校のテストでは「擬人法」と答えることも多いから覚えておこう！

問13 ウ

【解説】ただの自然の風景の中に「音楽の演奏」を見出している、とても素敵な見方（見立て）だね。

問14 イ

【解説】それぞれ違う音を出しているのに、それが重なり合うと、不協和音ではなく「きれいな曲（調和）」になるんだ。さらに発展させて考えると、違う個性を持つ人どうしが集まって調和することの大切さにも重ねて読めるね。

問15 イ

【解説】対比になっている言葉は、言葉の違いがはっきりと伝わるように区切りを意識して読むことで、葉っぱの個性の違いがより際立つんだ。

